

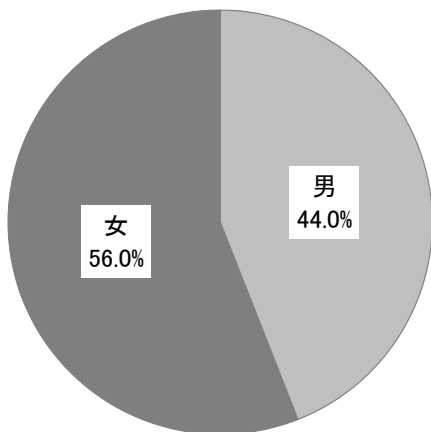
## 住民意識調査（速報版）

## 1. 調査概要

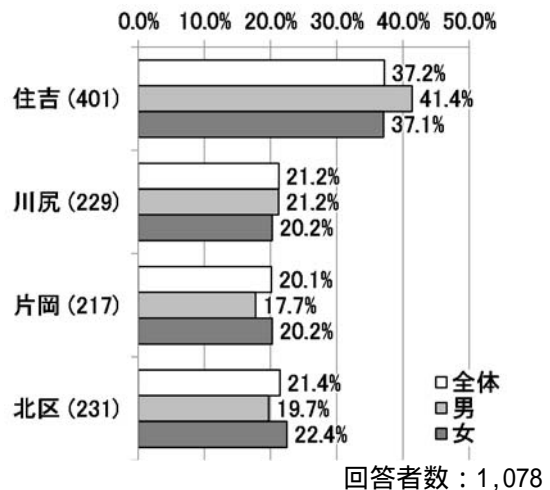
項目	概要
調査目的	総合計画策定のための住民意識調査
調査対象	吉田町在住の満18歳以上満80歳以下の男女 (令和4年1月1日現在) 3,000人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送法による留置記入方法
調査期間	令和4年9月14日(水)から9月28日(水)
有効回答数(率)	1,135票(37.8%)
<b>【留意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回答比率は全て百分率で表し、小数点第1位または第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならないことがあります。</li> <li>・複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分率の合計は100%を上まわります。</li> <li>・グラフの中の( )内の数字は各設問の回答者数で、回答者全体から「不明・無回答」を除いた回答者数を表しています。各選択肢の%に( )内の数字を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。</li> </ul>	

## 2. 回答者の属性

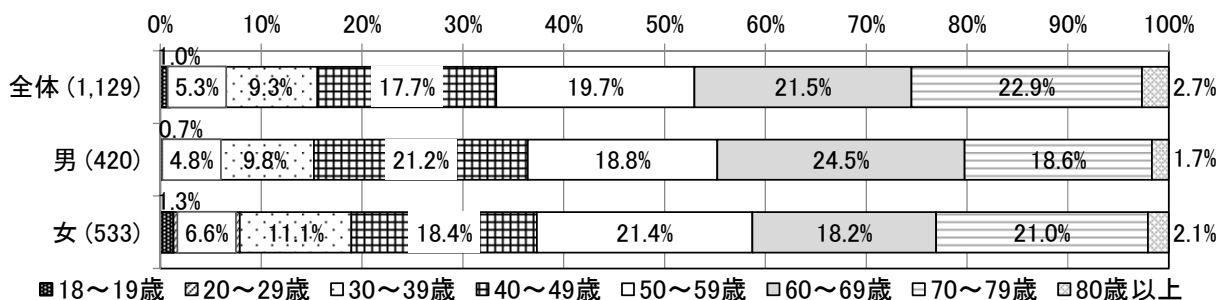
回答者の属性を性別で見ると、「男性」が44.0%、「女性」が56.0%と「女性」の方が多くなっています。



居住地区別では、全体と比べて「男性」は「住吉」がやや多く、「女性」はおおむね全体と同様の傾向となっています。



年齢別の構成では、全体と比べて「男性」は「40歳～49歳」「60歳～69歳」、「女性」は「30歳～39歳」「50歳～59歳」がやや高くなっています。



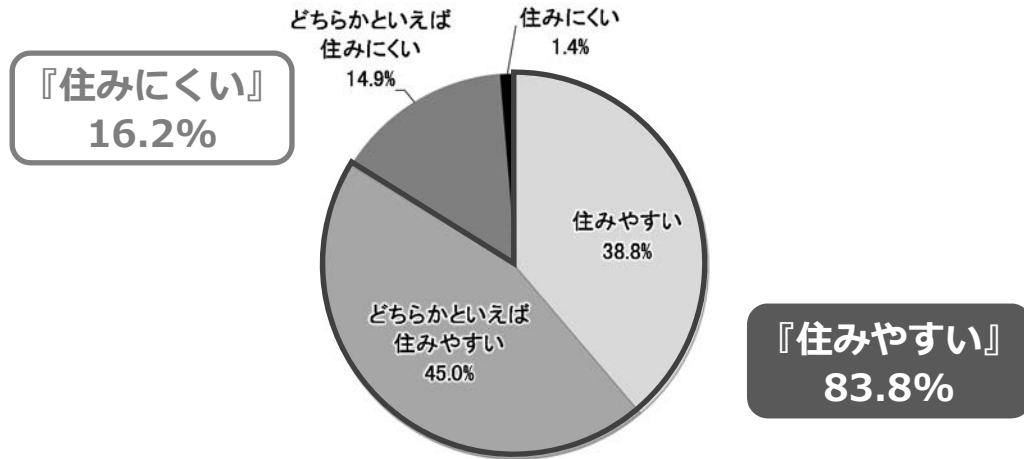
### 3. 調査結果

#### (1) 吉田町の住みごころなどについて

##### 住みやすさについて（単一回答）

吉田町の住みやすさについては、83.8%の方が『住みやすい』と回答しています。

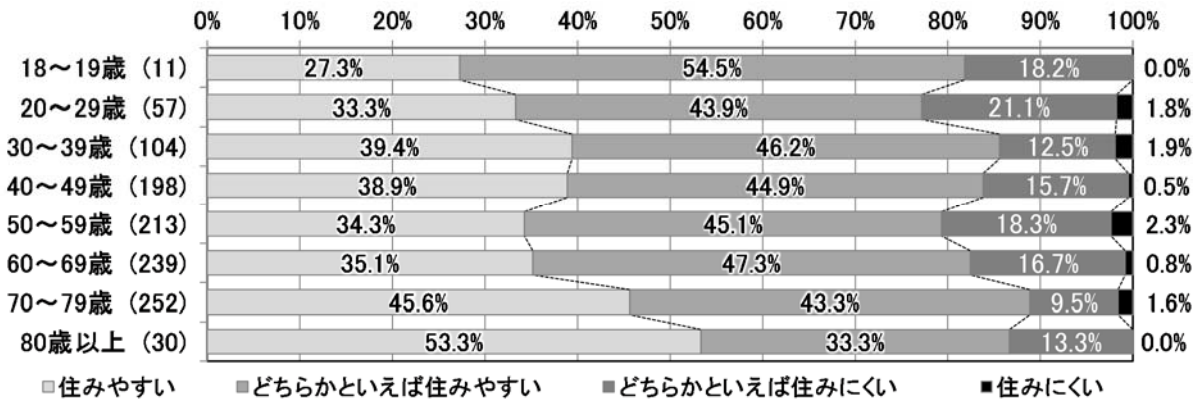
【図 吉田町の住みやすさについて】



回答者数：1,108

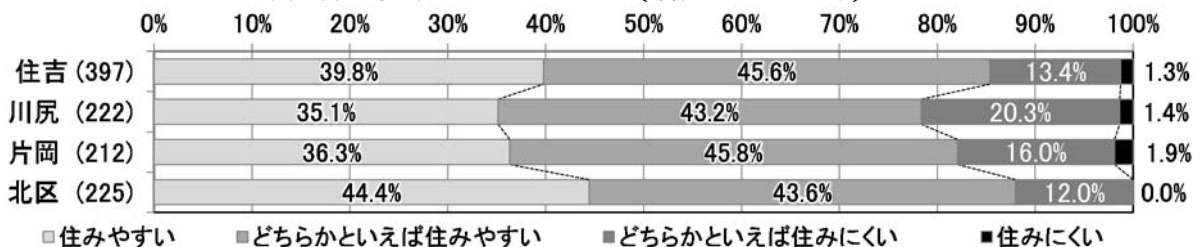
年齢別にみると、どの年齢も8割前後の方が『住みやすい』と回答していますが、年齢が高い方が『住みやすい』との回答が高くなる傾向が見られます。

【図 吉田町の住みやすさについて（年齢別）】



居住地区別にみると『住みやすい』との回答は「北区」が最も高く、次いで「住吉」「片岡」「川尻」の順となっています。

【図 吉田町の住みやすさについて（居住地区4区分別）】



『住みやすい』:「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせたもの

『住みにくい』:「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」を合わせたもの

### 住みやすい理由・住みにくい理由について（複数回答）

全体で見ると、住みやすい理由については、「住み慣れている」「買い物の便がよい」「自然環境がよい」などが高く、住みにくい理由については、「公共交通機関の便が悪い」「買い物の便が悪い」「災害が心配」などが高くなっています。

居住地区別にみると、住みやすい理由について特に高いのは、住吉では「住み慣れている」「騒音、悪臭がない」「人間関係がよい」、片岡では「自然環境がよい」、北区では「買い物の便がよい」「災害の心配が少ない」となっています。一方、住みにくい理由について特に高いのは、住吉と川尻では「災害が心配」、川尻では「公共交通機関の便が悪い」「買い物の便が悪い」、北区では「下水道の未整備」「公共施設の不足」となっており、ともに地域による偏りが見られます。

【住みやすい理由 上位10位】

住みやすい理由	地区	割合
住み慣れている	全体	64.4%
	住吉	70.5%
	川尻	64.4%
	片岡	68.4%
	北区	56.6%
買い物の便がよい	全体	53.7%
	住吉	49.0%
	川尻	43.7%
	片岡	53.4%
	北区	66.2%
自然環境がよい	全体	48.6%
	住吉	46.6%
	川尻	44.3%
	片岡	55.7%
	北区	51.5%
治安がよい	全体	39.5%
	住吉	38.9%
	川尻	37.9%
	片岡	42.5%
	北区	39.4%
騒音、悪臭がない	全体	30.6%
	住吉	34.8%
	川尻	21.8%
	片岡	31.6%
	北区	29.3%
住宅環境がよい	全体	25.2%
	住吉	21.2%
	川尻	25.9%
	片岡	27.6%
	北区	28.8%
災害の心配が少ない	全体	23.0%
	住吉	17.1%
	川尻	19.0%
	片岡	23.6%
	北区	37.4%
人間関係がよい	全体	21.1%
	住吉	26.3%
	川尻	18.4%
	片岡	16.7%
	北区	20.7%
子育て支援が充実している	全体	20.9%
	住吉	17.7%
	川尻	25.3%
	片岡	23.0%
	北区	20.7%
道路等の都市基盤が充実している	全体	16.7%
	住吉	15.9%
	川尻	14.9%
	片岡	16.1%
	北区	20.7%

全体(928)
  住吉(339)
  川尻(174)
  片岡(174)
  北区(198)

【住みにくい理由 上位10位】

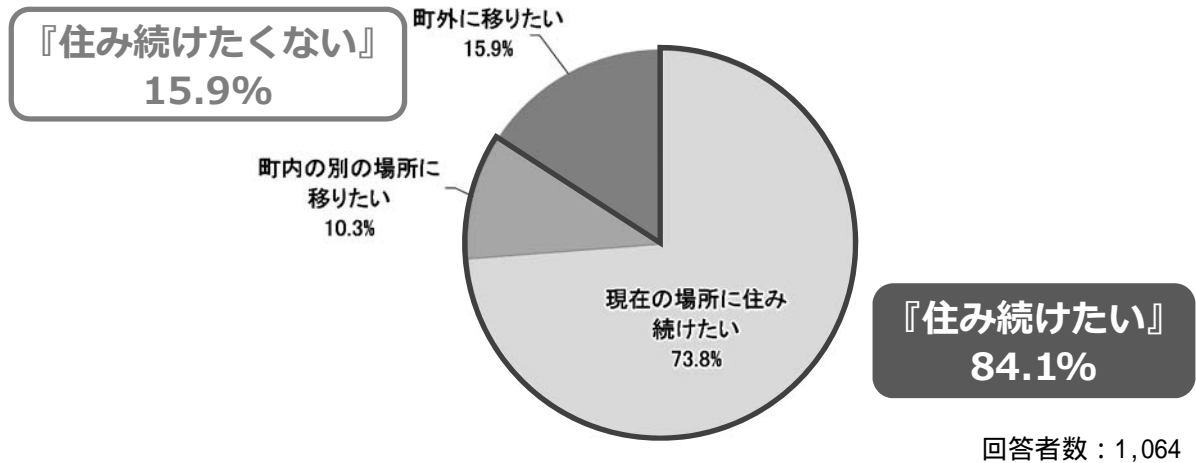
住みにくい理由	地区	割合
公共交通機関の便が悪い	全体	73.9%
	住吉	74.1%
	川尻	83.3%
	片岡	63.2%
	北区	66.7%
買い物の便が悪い	全体	41.7%
	住吉	36.2%
	川尻	64.6%
	片岡	26.3%
	北区	37.0%
災害が心配	全体	40.6%
	住吉	50.0%
	川尻	45.8%
	片岡	31.6%
	北区	29.6%
医療機関が不十分	全体	37.8%
	住吉	32.8%
	川尻	41.7%
	片岡	34.2%
	北区	40.7%
近所づきあいがめんどろ	全体	30.0%
	住吉	37.9%
	川尻	29.2%
	片岡	34.2%
	北区	14.8%
趣味を行う場所の不足	全体	22.2%
	住吉	19.0%
	川尻	20.8%
	片岡	23.7%
	北区	18.5%
家のまわりの生活道路の未整備	全体	20.0%
	住吉	13.8%
	川尻	27.1%
	片岡	15.8%
	北区	29.6%
下水道の未整備	全体	19.4%
	住吉	8.6%
	川尻	14.6%
	片岡	28.9%
	北区	33.3%
排水路の未整備	全体	18.3%
	住吉	15.5%
	川尻	18.8%
	片岡	15.8%
	北区	25.9%
公共施設の不足	全体	16.1%
	住吉	10.3%
	川尻	16.7%
	片岡	10.5%
	北区	33.3%

全体(180)
  住吉(58)
  川尻(48)
  片岡(38)
  北区(27)

## 吉田町への継続居住意向について（単一回答）

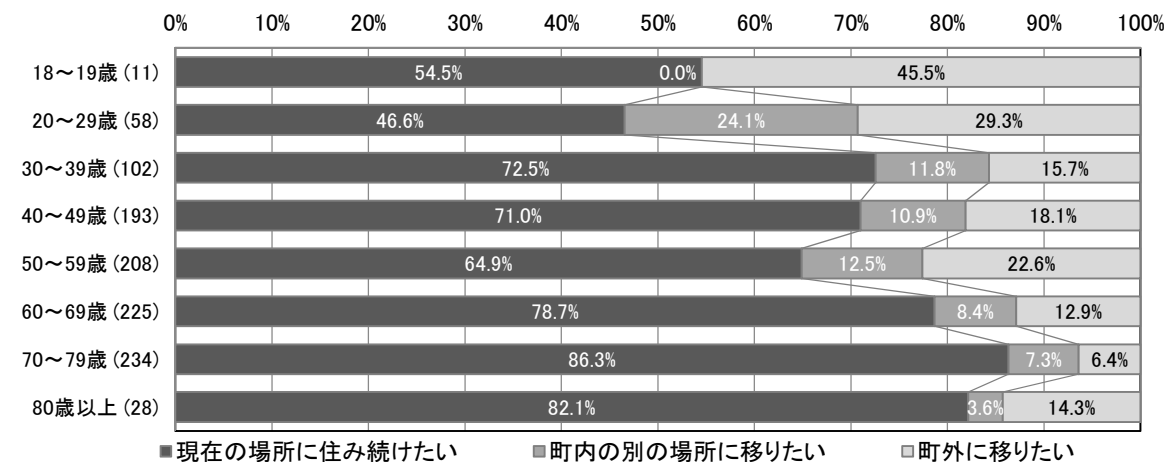
吉田町に継続居住意向については、84.1%の方が『住み続けたい』と回答しています。

【図 吉田町への継続居住意向について】



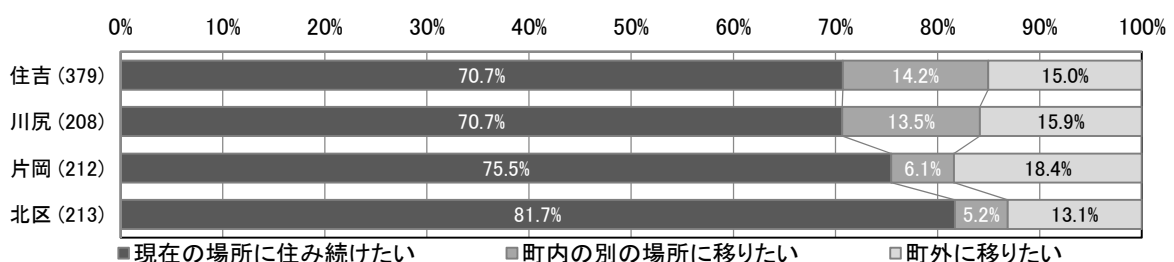
年齢別にみると若年層ほど「町外に移りたい」とする回答が多くなっています。20代では29.3%と他の年齢層と比べかなり高くなっていますが、70代以上は6.4%と低くなっています。

【図 吉田町への継続居住意向について（年齢別）】



居住地区別にみると『住み続けたい』との回答は「北区」が最も高く、次いで「住吉」「川尻」「片岡」の順となっています。

【図 吉田町への継続居住意向について（居住地区4区分別）】



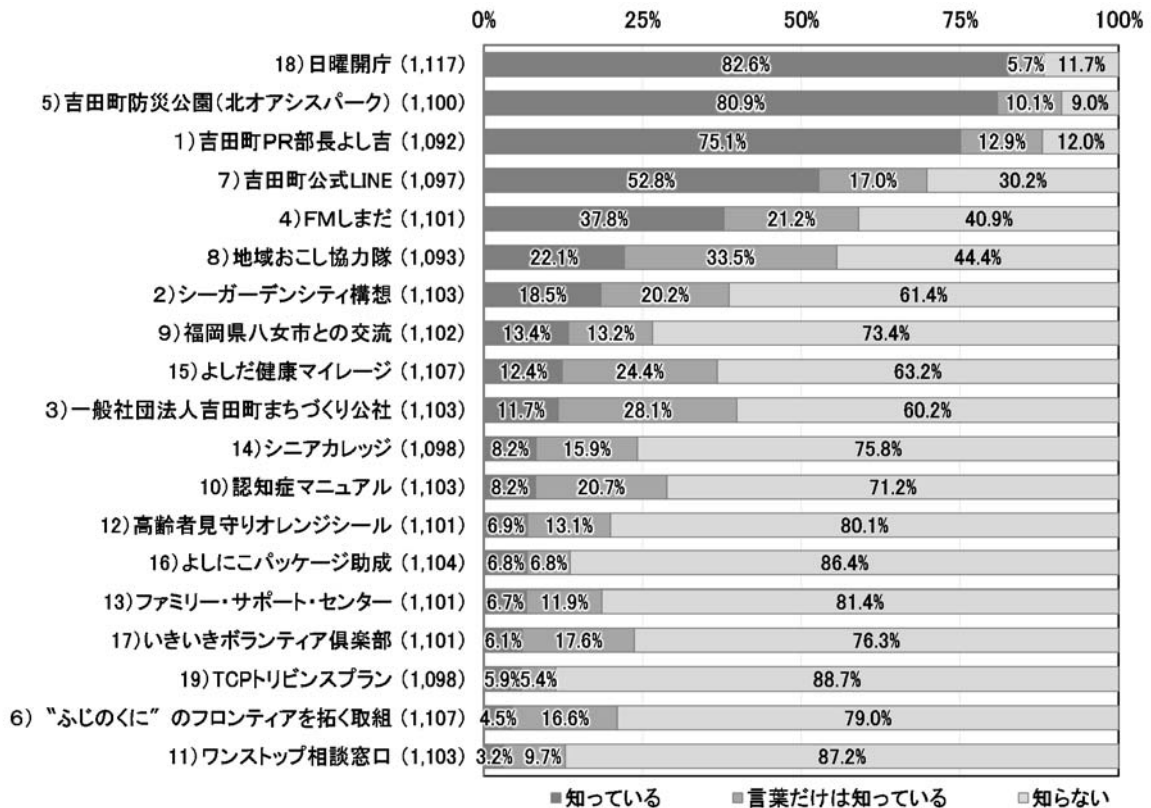
『住み続けたい』：「現在の場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」をあわせたもの

(2) 吉田町の取組等に対する認知度について（単一回答）

吉田町で認知度が高い取組は、「日曜開庁」、「吉田町防災公園（北オアシスパーク）」、「吉田町PR部長よし吉」で「知っている」が8割前後となっています。

また、認知度が低い取組は「TCPトリビンスプラン」、「ワンストップ相談窓口」、「よしにこパッケージ助成」、「ファミリー・サポート・センター」、「高齢者見守りオレンジシール」で、「知らない」が8割を超えています。

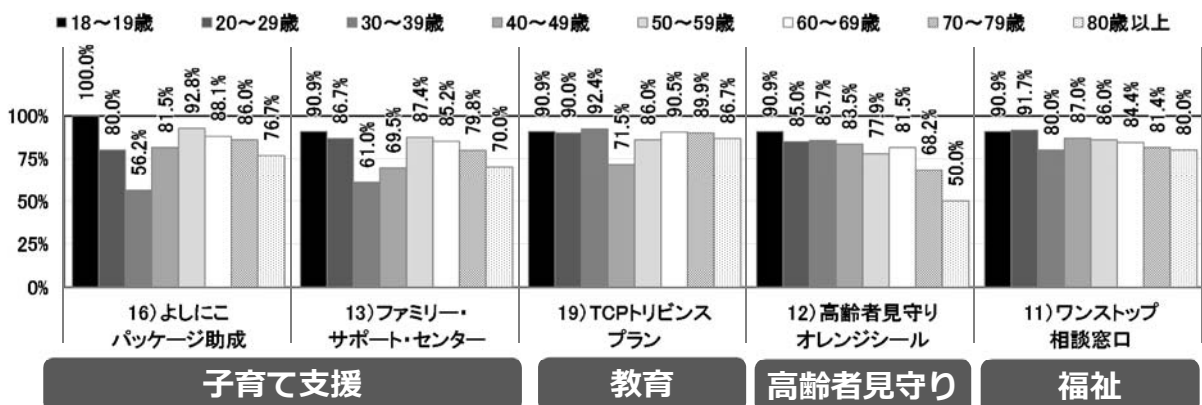
【図 吉田町の取組等に対する認知度について】



「知らない」が8割を超えた取組について、「知らない」の回答率を年齢ごとに確認すると、子育て支援・教育に関する取組では20歳から50歳未満などの子育て世代で「知らない」の割合が低下する一方、高齢者見守りにおいては高齢者以外の世代で「知らない」の割合が高くなっています。

ワンストップ相談窓口については全般的に「知らない」の割合が高く、特に30歳未満で9割を超えています。

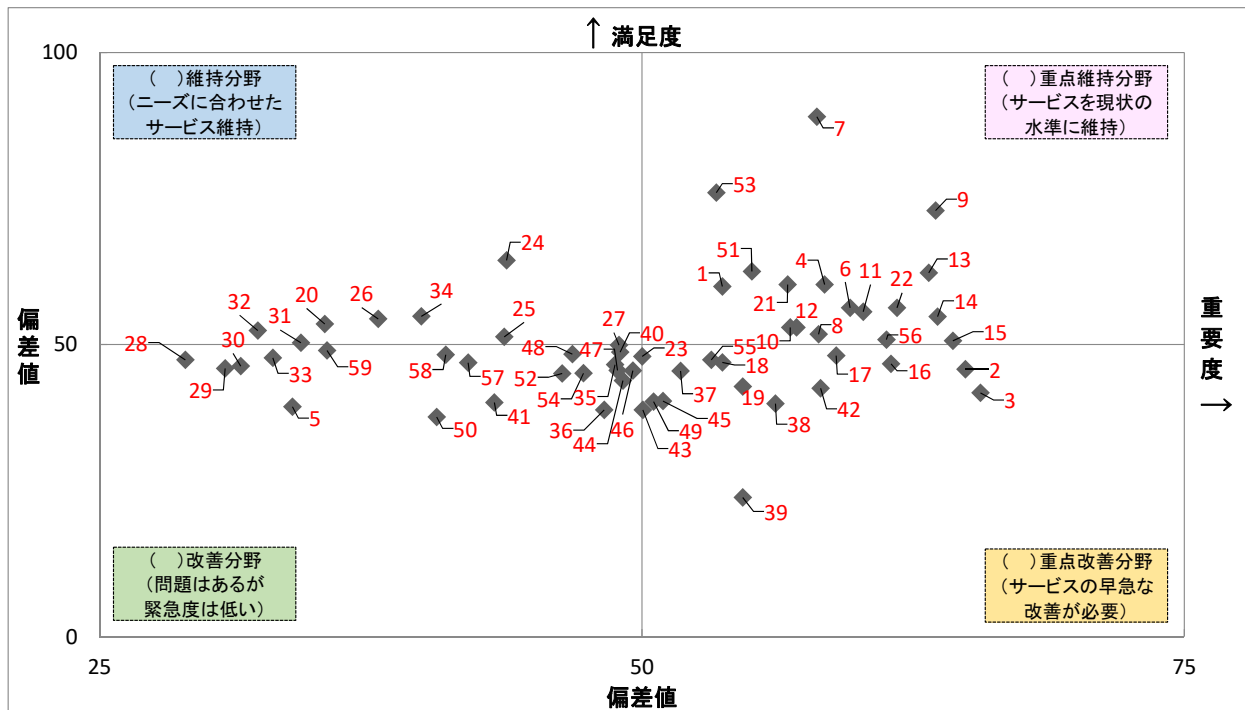
【図 認知度が低い取組の「知らない」の回答率（年齢別）】



**(3) 吉田町の各分野の取組に対する重要度・満足度について（単一回答）**

- ( ) 重点維持分野（サービスを現状の水準に維持）では、「7）障害者福祉」「53）役場の日曜開庁」「9）上水道の安定供給」で満足度が特に高くなっています。
- ( ) 重点改善分野（サービスの早急な改善が必要）では、「39）バスなどの公共交通」「38）生活道路の整備」で満足度が特に低くなっています。
- ( ) 維持分野（ニーズに合わせたサービス維持）では、「24）図書館の充実」で満足度が特に高くなっています。
- ( ) 改善分野（問題はあるが緊急度は低い）では、「28）都市間交流」「29）国際交流」「30）多文化共生」で重要度が特に低くなっています。

図 吉田町の取組に対する満足度と重要度（偏差値）



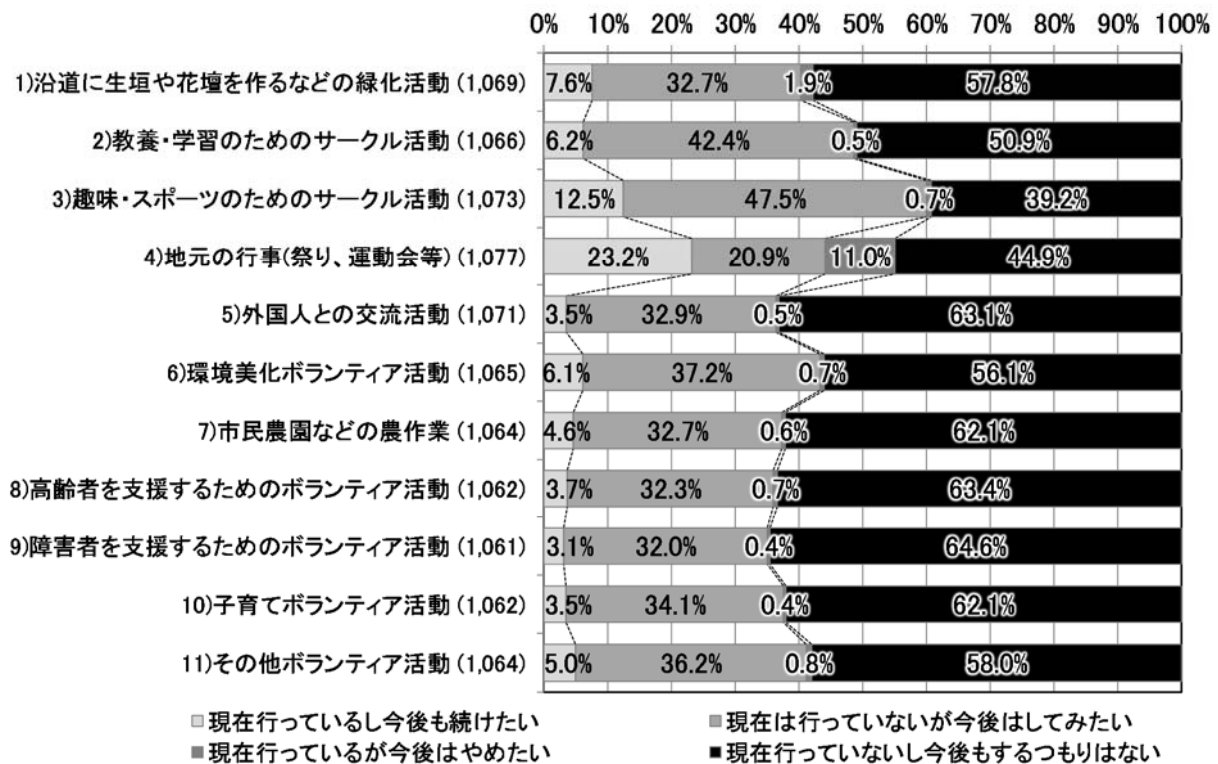
1)健康づくりの推進	21)幼稚園・保育園などの幼児教育	41)住宅取得に対する支援
2)地域医療	22)小・中学校での学校教育	42)働く場所や就業機会
3)救急医療体制	23)義務教育以外の学校教育環境	43)新たな地域産業の創出
4)保育園などの保育サービス	24)図書館の充実	44)企業誘致の推進
5)結婚支援	25)地域による教育の充実	45)農業の振興
6)出産・子育て支援	26)生涯学習活動	46)水産業の振興
7)障害者福祉	27)青少年の健全な育成	47)地産地消の取組
8)高齢者福祉	28)都市間交流	48)工業の振興
9)上水道の安定供給	29)国際交流	49)商業・サービス業の振興
10)下水道の整備	30)多文化共生	50)観光の振興
11)ゴミ処理やりサイクル	31)スポーツ・レクリエーション	51)役場の窓口での対応
12)交通安全対策	32)文化活動への支援	52)オンラインによる行政手続
13)消防・救急体制	33)歴史・文化に触れる機会	53)役場の日曜開庁
14)津波災害対策	34)文化財保護	54)デジタル化の推進
15)地震災害対策	35)心地よい景観・街並み	55)情報公開など行政の透明性
16)水害・土砂災害対策	36)用途に応じた土地利用	56)町財政の健全な運営
17)防犯対策	37)幹線道路の整備	57)住民参画の推進
18)公害防止対策	38)生活道路の整備	58)男女共同参画社会の推進
19)地球温暖化対策	39)バスなどの公共交通	59)公共施設のユニバーサルデザイン化
20)コミュニティ活動への支援	40)公園や緑地	

#### (4) 地域活動について（単一回答）

「現在行っているし今後も続けたい」は「4）地元の行事」が23.2%で最も高く、「9）障害者を支援するためのボランティア活動」が3.1%で最も低くなっています。

「現在行っていないし今後もするつもりはない」は「9）障害者を支援するためのボランティア活動」が64.6%で最も高くなっています。

図 地域活動への参加実態と今後の参加意欲について

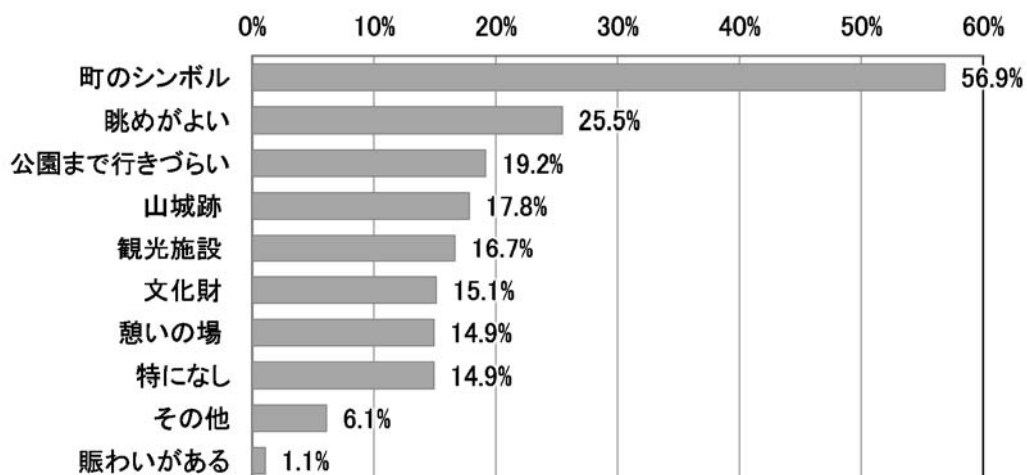


#### (5) 小山城周辺について（2つ選択）

全体では「町のシンボル」が56.9%で最も高く、次いで「眺めがよい」「公園まで行きづらい」「山城跡」の順となっています。

また、「賑わいがある」が1.1%と、最も低くなっています。

図 「展望台小山城」周辺（能満寺山公園）について

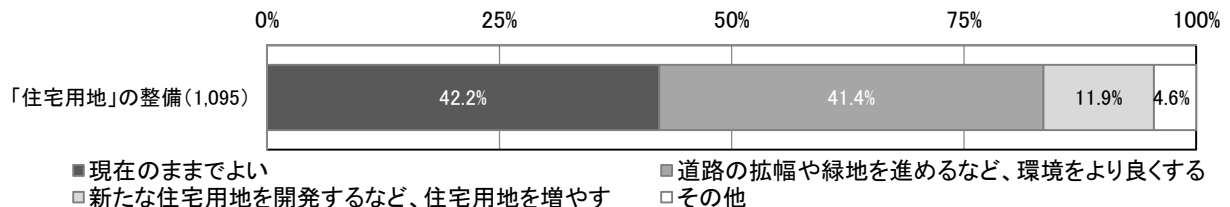


回答者数：1,111

## (6) まちづくりについて（単一回答）

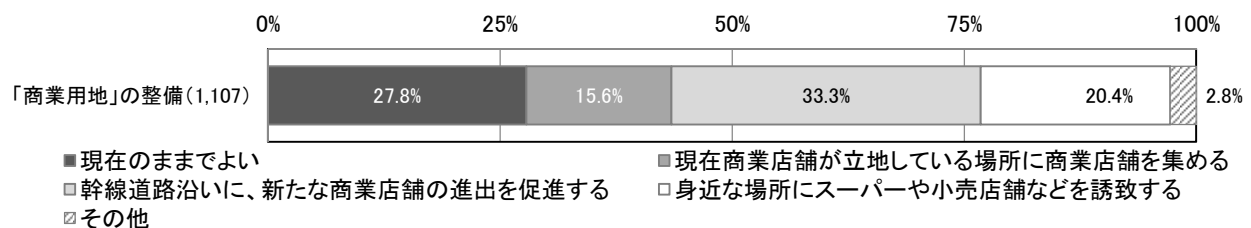
### 「住宅用地」の整備について

「現在のままでよい」が42.2%で最も高く、次いで「道路の拡幅や緑地を進めるなど、環境をより良くする」「新たな住宅用地を開発するなど、住宅用地を増やす」の順となっています。



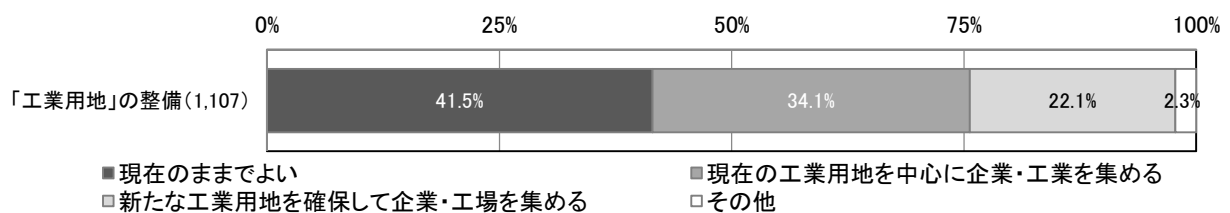
### 「商業用地」の整備について

「幹線道路沿いに、新たな商業店舗の進出を促進する」が33.3%で最も高く、次いで「現在のままでよい」「身近な場所にスーパーや小売店舗などを誘致する」の順となっています。



### 「工業用地」の整備について

「現在のままでよい」が41.5%で最も高く、次いで「現在の工業用地を中心に企業・工業を集める」「新たな工業用地を確保し企業・工場を集める」の順となっています。



### 「農地」の整備について

「現在地の農地を農地のまま維持する」が48.1%で最も高く、次いで「吉田たんぼなど大規模農地は保全し、小規模農地については別の用途に活用する」となっています。

